

水稻極早生新品種 ‘よさ恋美人’ の概要

●来歴および育成経過

高知県のうるち玄米では、夏の高温によって白未熟粒（白く濁った粒）が多発しており、近年、1等米比率の低下が顕著です。

高温に強く品質が優れ、食味も「コシヒカリ」と同等以上の品種の育成を目的として、平成15年に高知県農業技術センターにおいて、高温に強い品種「ふさおとめ」（千葉県の子成品種）を母親、食味の良い品種「コシヒカリ」を父親として人工交配しました。

平成18年までは形質の固定を進め、平成19年からは高温で栽培した場合の品質、収量や食味などの調査を続け、平成25年には、有望系統として「高育76号」（系統の名前）を選抜しました。平成26年からは奨励品種決定調査本調査（農業技術センター内のほ場）や同現地調査（県内6カ所）で病気に対する強さや地域への適応性などを調査し、優れた結果が得られたことから、本年6月に新たな奨励品種として採用しました。

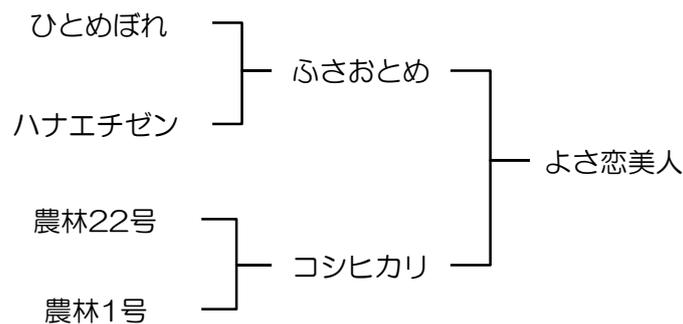


図 ‘よさ恋美人’ の系譜

表 育成経過

年度	H15	H16~H24 (内8カ年)	H25	H26	H27~H28	H29
世代	—	F ₁ ~F ₈	F ₉	F ₁₀	F ₁₁ ~F ₁₂	—
育成経過	交配	・世代促進 ・個体および系統選抜	奨励品種決定調査 予備調査	→ 本試験(所内)	→ 本試験(所内・現地)	育成完了
選抜項目	増殖	主に品質 (高温登熟性)	・熟期 ・収量 ・品質 ・食味	・収量 ・品質 ・食味 ・耐冷性 ・耐病性等	・同左 ・現地調査 (県内6カ所)	現地実証
選抜数	200粒	273穂；11 →13→ 9→2系統	・高系344 ・高系345 (高育76号)	高育76号	→	奨励品種採用命名

注) 高温登熟性；高温下でも品質が優れる特性。感受期を高温(8月)で経過させ評価。

●品種特性

- 収穫期：7月中に収穫できます（極早生品種：成熟期は7月26日前後）。
- 品質：高温下で実った場合でも、玄米がきれいです（白未熟粒少ない）。
- 食味：コシヒカリと同等以上のおいしさです。
- 収量：既存の極早生品種（ナツヒカリ）より多収です（粒張り良く、大きい）。



よさ恋美人



コシヒカリ

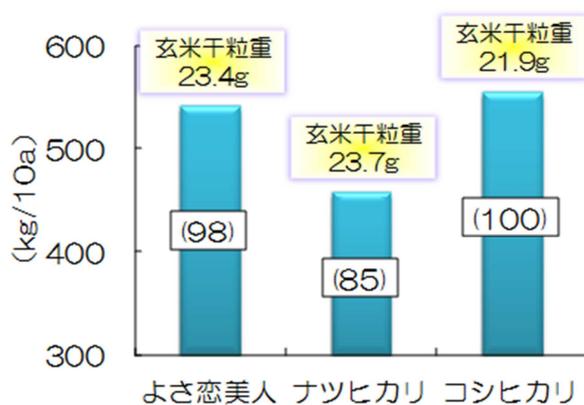
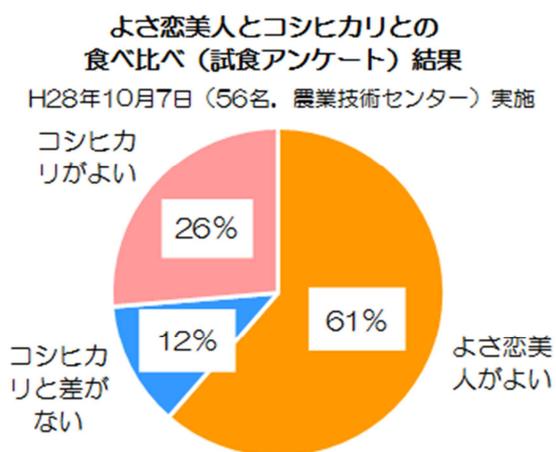


図 収量および玄米干粒重の比較
注) 奨励品種決定調査における3カ年の平均値。
棒グラフ中()はコシヒカリ収量比。

●今後の生産予定

- H30年：500t（100ha）
- H35年：5,000t（1,000ha）